

病気と苦痛に対する人間の闘いのために。
独創的な新薬の開発は、挑戦の歴史でもありました。

江戸時代中期の1717年(享保2年)に薬種商として創業以来、業業一筋に邁進してきました。1934年より製薬研究を開始し、1947年に医薬品の製造と販売という二つの経営機能を持つ製薬会社として、小野薬品工業株式会社を設立しました。1950年に大

衆薬市場に本格参入しましたが、1961年の国民皆保険制度の導入を機に、大衆薬から医療用医薬品への転換を図り、1968年のプロスタグランジン(PG)の全化学合成に成功以降、多くの世界初のPG製剤を上市しました。

▶1717



初代伏見屋市兵衛が
大阪道修町に薬種商を創業

▶1947



小野薬品工業株式会社設立

▶1974

世界初
プロスタグランジン
製剤

陣痛誘発・促進、
分娩促進剤
「プロスタルモン注射液」



▶1934

小野市兵衛商店に
改組・改称
製薬の研究を開始

▶1950

風邪薬などの
大衆薬の販売を開始

▶1968

世界初
企業として初めて
プロスタグランジン
の全化学合成に成功

▶1979

慢性動脈閉塞症治療剤
「注射用プロスタンディン」



2017

2011

アルツハイマー型
認知症治療剤
「リバスタッチパッチ」



2007

過活動膀胱治療剤
「ステープラ錠」



1995

世界初

ロイコトリエン
受容体拮抗剤

気管支喘息・
アレルギー性鼻炎治療剤
「オノンカプセル」



1985

慢性膵炎治療剤
「フオイバン錠」



2014

世界初

抗PD-1抗体
抗悪性腫瘍剤
「オプジーボ点滴静注」



2009

骨粗鬆症治療剤
「リカルボン錠」



2000

小児科領域初

ロイコトリエン受容体拮抗剤

気管支喘息・アレルギー性
鼻炎治療剤
「オノンドライシロップ」



1988

末梢循環障害治療剤
「オパルモン錠」



2型糖尿病治療剤
「グラクティブ錠」



プロスタグランジン関連製品の
発売以来、右肩上がりに成長。
自社創薬の空白期間は導入品で
乗り越え、「オプジーボ」の発売へ。

2002年以降、自社創製化合物の開発の中止が相次ぐ中、
ライセンス活動を強化し、国内外の企業から化合物を導入す
ることで新薬を上市してきました。この間、自社創薬にも挑戦
を続けてきた結果、2014年7月に世界に先駆けて、抗PD-1
抗体「オプジーボ」の国内製造販売承認を取得しました。